

【児童発達支援】事業所における 自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月 日

事業所名:浦安市こども発達センター

事業所職員向け 児童発達支援 自己評価表		回答 17 件(職員17名、回収率 100%)		
	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	16	1	・机やイスの置き場・配置など工夫している。 ・共有する粗大遊び等の部屋は時間で分けるよう話し合っている。 ・個人対応する児もいるので、別室も利用しながら対応している。
	2 職員の配置数は適切であるか	16	1	・子どもの状況によっては、多く職員を配置し、安全に過ごせるようにしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	7	・老朽化しているが、清潔・感染予防は心がけている。 ・日々の清掃と消毒を実施している。 ・トイレ・手洗い場の数が少ないので子どもたちが生活しやすい空間になっていない部分もあり改善が必要。
事業改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	17	0	・日々の反省会と記録で行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	17	0	・定期的に保護者からの評価を実施している。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16	1	・メールや掲示で公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	0	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	17	0	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	17	0	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	0	・専門職や保育士の評価と保護者からの意向を踏まえ、児童発達支援計画を作成している。 ・保護者の方にわかりやすい具体的な内容で提案できるように心がけている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	・児童発達支援計画の内容をグループ内で共有し、計画に沿った支援を行っている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	2	・主たる作成は保育士であり、専門職に意見を求めることもある。 ・個別でのアセスメントと集団でのアセスメント評価が異なることもあり、話し合いをする必要もある。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	17	0	・定期的に見直しを行っている。 ・活動内容によってはプログラムが変化するが、固定化しやすい雰囲気はあるので、意識して考え方が柔軟になるとよい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	17	0	・それぞれの具体的な目標に落とし込んである。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	17	0	・ほとんどが支援前に役割分担を調整できているが、打ち合わせが話し合いとして出来ないクラスもあるので調整している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16	1	・ほとんどが振り返りができているが、その日にできていないクラスもあり時間を調整している。 ・日々の反省会で行っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	0	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16	1	
関係機	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	1	・サービス担当者会議はにじいる通園時間中に行われることも多く、参加できていないこともある為、時間調整をしていく。 ・参加したいと思っても、会議日程が合わず参加できていない為、参加できるようにしていく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17	0	・こども家庭センター等と連携している。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	17	0	・サービス担当者会議・園訪問・モニタリング等を行っている。

関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	17	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	0	・保護者も参加する安心サポート会議を行い、園に情報を共有し相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	0	・就学関連の相談機関としてまなびサポートを紹介し、連携しながら情報共有と相互理解を行っている。特別支援学校(小学部)には年度末に学校との引継ぎ会を行い情報共有と相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	2	・センター内の専門職からの助言は受けている。 ・今年度は習志野あじさい園の視察に行き、情報交換ができた。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	2	・コロナ禍のため、難しい部分もあるが、状況が落ち着いた時期に交流保育の再開を行った。 ・園と併用利用しているお子さんは児童発達支援事業所として交流などは行っておらず、併用園での生活が交流機会と解釈している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	5	・施設長が参加しており、会議の内容はその都度報告あり。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	・親子通園利用児は、その都度話をする機会を設けたり、保護者からの相談対応をしている。 ・単独通園利用児は、連絡ノートや電話・送迎時・面接等で情報共有している。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(保護者向けおはなし会や座談会等)の支援を行っているか	17	0	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	3	・保護者同士の連携の場を早い時期に設定することが望ましい。 ・コロナ禍ということもあり、実施する機会が少ない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	6	・定期的ではないが、適宜お知らせ文は発行している。 ・毎日の連絡ノートやお知らせなどで発信している(会報はない) ・日々の活動以外に、保護者への発信を行うことは必要だが、できていない。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	8	・現在のところ、外部の方を呼ぶ行事を企画していない。施設の特性上、開かれた事業運営をどこまで行うかは今後の課題である。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	16	1
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	17	0	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	17	0	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	17	0	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	2	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	17	0	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	16	1	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。